第１章　　城陽市の概要

じょうりんちゃん

１．位置及び自然条件

本市は京都盆地の南東部に位置し、西に木津川、東に醍醐、信楽山地に連なる丘陵地をもち、東西9.0km､南北5.4km､総面積32.71km^2 の市です。

北は宇治市及び久世郡久御山町に接し、東は鴻ノ巣山を経て綴喜郡宇治田原町に連なり、南は綴喜郡井手町に、西は木津川を挟んで八幡市及び京田辺市に相対しています。

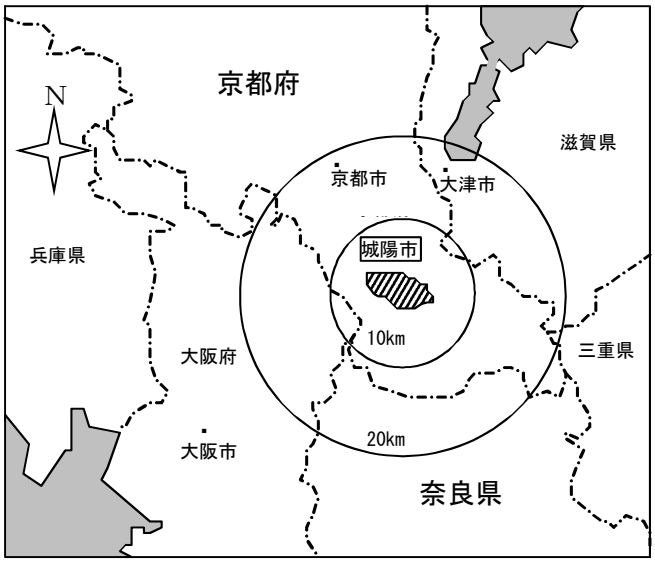
地勢は、古川が流れる北西部の海抜13.0mの低平地から、南東部の丘陵地の海抜430.2mにかけて広がる東高西低の地盤傾斜を呈しています。

地形と地質の分布は極めてよく一致しており、南東部の山地は古生層で、JR奈良線をほぼ境界として、丘陵地は洪積層、木津川右岸の低地は沖積層で覆われています。

気候は、年間平均気温が16℃前後と比較的温暖で、年間降雨量も1,500㎜程度であり、住むのに適した気候です。

（資料編１－１「気象」を参照）

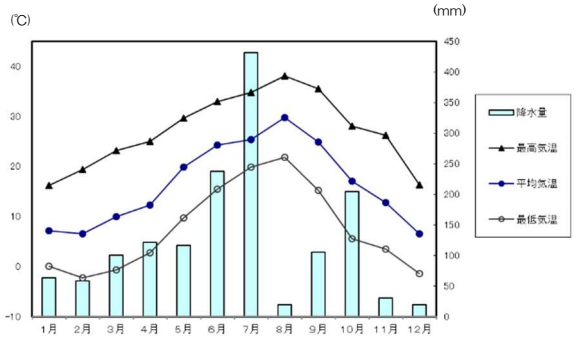
■城陽市の位置図



■位置、面積、市域、海抜

位置(市役所)	北緯	34° 51′	東経	135° 47′
面　　積	32.71㎢			
市　　域	東西	9.0km	南北	5.4km
海　　抜	最高	430.2m	最低	13.0m

■令和2年　月別気温･降水量



２．沿革

本市は、京都・奈良の中間に位置するため古くから交通の要衝としてひらけ、５世紀の大和時代には潅漑用の水路が設けられ豊かな耕地となったため、多くの人々がこの地に居住し、平安時代の初期には栗隈郷、久世郷、水主郷、富野郷及び中村郷に分かれて集落が形成されました。

近世には、久世、平川など８ヶ村に分かれ久世郡に属していましたが、明治22年の町村制実施によって、久津川、寺田、富野荘及び青谷の４ヶ村となり、昭和26年の町村合併促進法の適用を受けて４ヶ村を合併し、城陽町が誕生しました。その後、昭和30年代前半までは純農村として推移してきましたが、昭和30年代後半から近畿圏への人口集中に伴って、京都・大阪都市圏の住宅都市として一躍脚光を浴び急激な宅地開

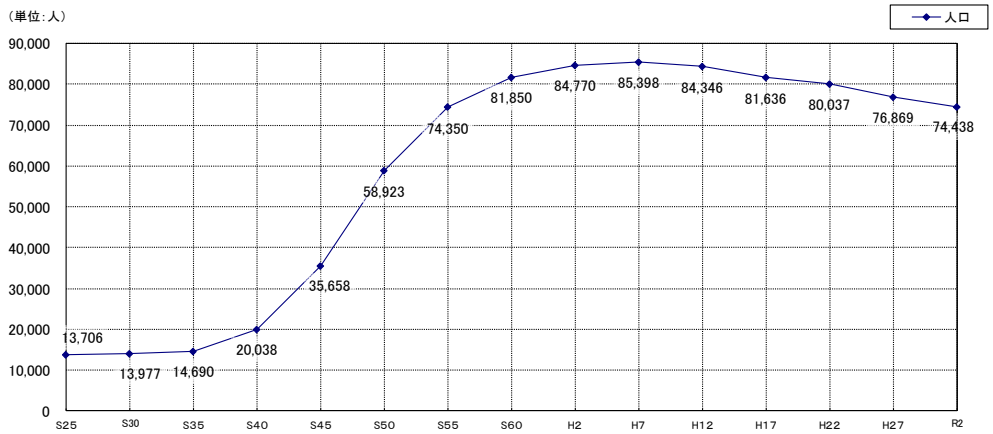
発が行われ人口が急増し、その結果、昭和47年５月３日、市制を施行しました。

３．人口

本市の人口は、昭和26年合併当時は１万３千人、昭和35年には１万５千人でしたが、昭和47年の市制施行時には４万５千人と急増し、昭和60年には８万２千人となりました。その後、人口増加は鈍化し平成８年をピークに以降漸減し、令和２年10月１日の人口は74,438人となっています。

（資料編１－２「人口推移」を参照）

■人口の推移



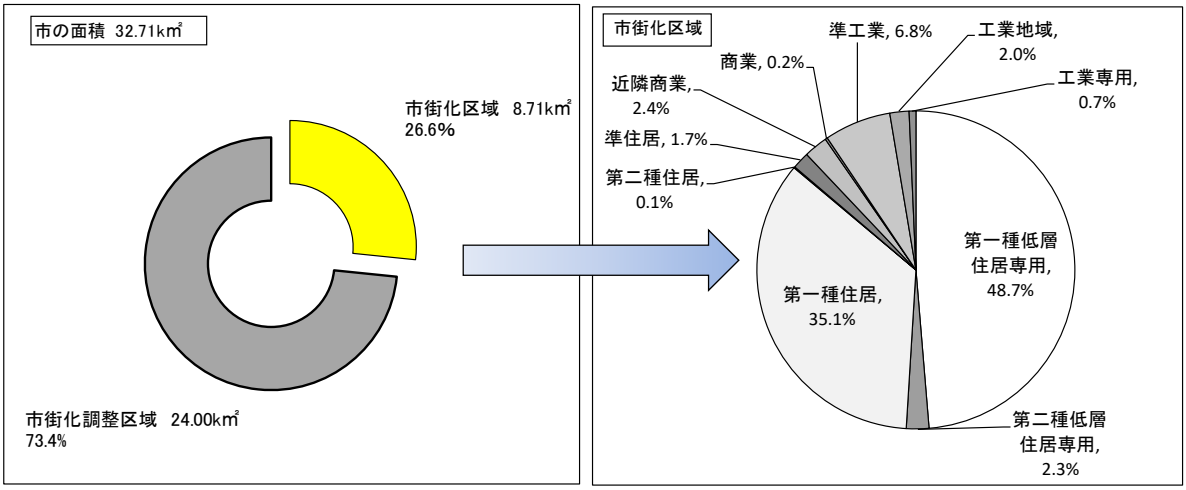
４．土地利用

西部の平地は、住宅地、水田、畑地及び市街地で、国道24号沿線の一部には新たに商業施設等が進出し、平成31年３月にはサンフォルテ城陽としてまちびらきをしました。また、東部には丘陵地が広がり、多くの自然環境が保全されています。

令和５年度（2023年度）には新名神高速道路の全線開通が予定されており、それを機に、京都府南部地域の活性化へとつながるような、東部丘陵地をはじめとした新たな産業の創出・集積に向けたまちづくりが進められています。

（資料編１－３「土地利用」を参照）

■市の面積と市街化区域



５．交通

鉄道は、ＪＲ奈良線と近鉄京都線が並行して、市内をほぼ南北に縦断しており、市内には両線とも３つの駅があり、京都や奈良への交通アクセスには恵まれています。

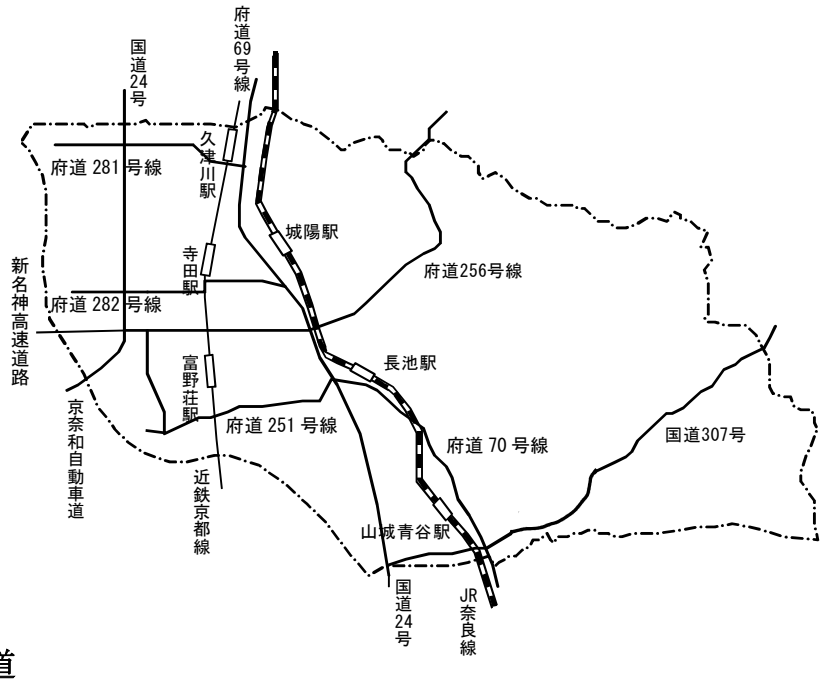
バス路線は、総合運動公園、市東部の住宅地、ＪＲ城陽駅、近鉄寺田駅までを結ぶ「鴻ノ巣山運動公園近鉄寺田線」と、プラムイン城陽、鴻ノ巣台から水主団地、富野荘、長池地域までを結ぶ「プラムイン城陽長池線」の２路線があります。（令和３年３月31日現在）

また、広域的な道路ネットワークとしては、新名神高速道路、京奈和自動車道などがあります。

なお、新名神高速道路に関しては、平成29年４月に城陽―八幡京田辺間が開通し、令和５年度（2023年度）には全面開通することが予定されています。

主要な幹線道路としては、他に市内を南北に縦断し奈良と京都を結ぶ国道24号と府道３線、東西を結ぶ府道３線と、市域南部を東西に横断し京田辺市と宇治田原町に通じる国道307号があります。

■市内主要道路(国道･府道)



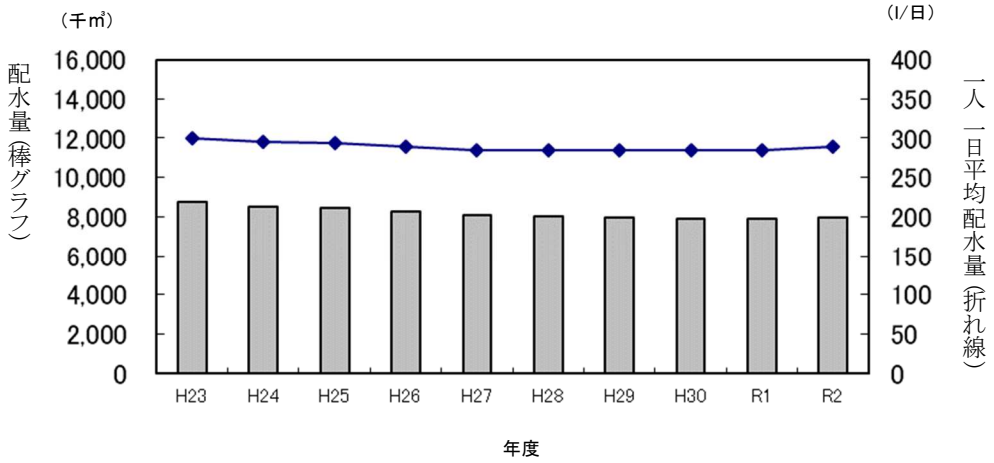
６．上下水道

本市の上水道年間配水量及び一人一日平均配水量は、給水人口減などにより、減少傾向にあります。

また、本市の下水道は健康で快適な生活を送ることのできる環境確保と公共用水域の水質保全を図る目的で、昭和58年に事業着手し、平成２年４月に供用を開始しました。その後、積極的に整備を推進した結果、平成20年度で下水道整備はほぼ完了し、令和２年度の人口普及率は、99.5％となっています。

（資料編1－6「上水道事業規模」、１－７「公共下水道の状況」を参照）

■上水道配水量の推移


（千㎥）
（l/日）
配水量（棒グラフ）
一人一日平均配水量（折れ線）
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
400
350
300
250
200
150
100
50
0
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1
R2
年度